

インフラと静岡の 未来について いっしょに考えて みませんか？

INFRASTRUCTURE
OF SHIZUOKA



静岡県 交通基盤部 政策管理局 建設政策課

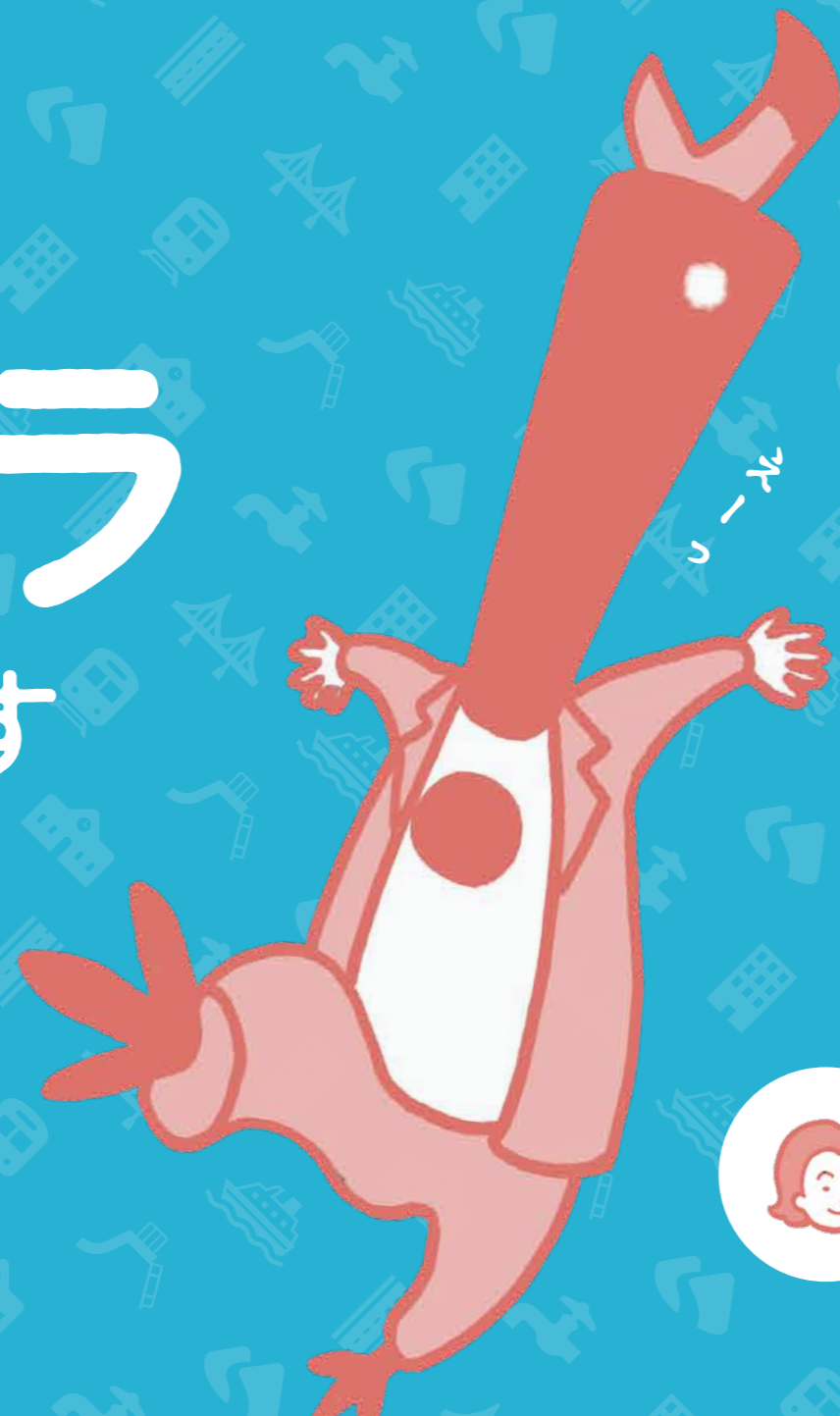
〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号(県庁本館2階)

Tel.054-221-3681

kensei@pref.shizuoka.lg.jp

いきなりですが・・・

あなたはいつも インフラ に囲まれています



インフラって当たり前の存在すぎて、なかなか気づかれないんです。学校や会社に通ったり、電話をしたり、お風呂に入ったり。そういった静岡に住むみんなの当たり前の生活をこれからも当たり前にするために影ながらインフラは頑張っています。別に目立ちたいわけじゃないんです。でも、少しでもインフラのことを考えてくれると嬉しかったりもします。もしよければ、インフラと静岡の未来についていっしょに考えてみませんか？



静岡県のお姉さん

インフラについて
優しく教えてくれる
静岡県LOVEなお姉さん。

インフラミンゴ

インフラについて興味津々で
常に首が「？」マーク。
驚くと首が「！」マークになる。



インフラの歴史

インフラは時代ごとに生まれ、形を変えながら私たちの生活を支えてくれています。昔と比べてインフラが整備されている今の時代は幸せです。

昔はどんなインフラだったか見てみましょう



静岡県の歴史的インフラはこちら!



1868-1926

明治・大正

上下水道や郵便、電話、ガス、鉄道の整備。

文明開化や西洋文化の影響を受け、人々の生活は大きく変わります。上水道や郵便、電話やガス供給が開始されて人々の生活が豊かになり近代化が進みます。また、鉄道が整備されたことで今までの徒歩や水運に比べ輸送量が大幅に上がり経済的な成長を促しました。



約400-150年前

江戸

五街道の整備がされる。

主な移動手段は舟・徒歩・馬です。富士川や天竜川で水路開発・港の整備が進み、材木や米などが運ばれました。また、江戸を起点とした東海道・中山道・日光道中・奥州道中・甲州道中の五街道が整備され、徒歩や馬での移動も活発化しました。



1926-1989

昭和

高速道路、新幹線が開通し移動、輸送が楽に。

東名高速道路が開通したことで今まで鉄道に頼っていた輸送も自動車での輸送割合が増加、また東海道新幹線が開通し、東京-大阪間で約9時間かかっていた移動が約2時間30分で可能となり旅客交通にも大きな変化をもたらします。高度経済成長の流れに乗って加速度的に道路橋、トンネル、河川、下水道、港湾などが全国的に整備されました。



1989-2019

平成

交通インフラがさらに充実。一方で、「防災・減災」の課題が表面化。

PCやインターネット、スマートフォンなどが普及し、より便利に暮らすことができる時代になりました。また、富士山静岡空港の開港や新東名高速道路の開通など、交通インフラがさらに充実しました。一方で、高度経済成長期に集中的に整備されたインフラが、今後一斉に老朽化するため、計画的に点検や補修を行って長寿命化していく、「保全」に重きを置く時代となりました。また、阪神・淡路大震災や東日本大震災などの大災害をはじめとして、豪雨や台風等、多くの自然災害が発生したため、自然災害への備えの重要性が高まり、防災・減災対策の強化が進められました。



2019-

令和

これからは「みんなの時代」

ICT



長老インフラ 増えすぎ問題

高度経済成長期に集中的に整備されたインフラの多くが50年以上も私たちの生活を支えてくれています。インフラも50歳を超えると色々とメンテナンスが必要になりますが、数が多く全てのメンテナンスが十分にできないことが心配されています。

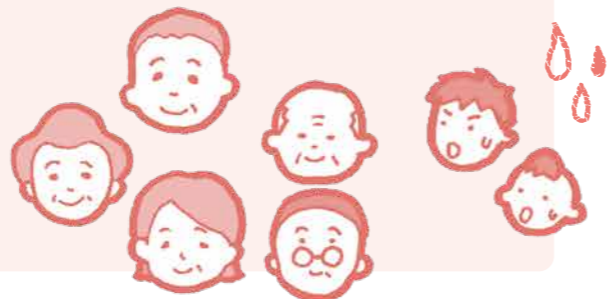
つくる・まもることができる人が 少なくなる問題

人口減少・少子高齢化の影響はインフラにもあります。今はインフラを整備や保全してくれる人たちが頑張って支えてくれています。が、今後も子供の数が少なくなると次の世代にバトンタッチできない心配があります。

インフラの 心配ごと

自然災害に 耐えられるか問題

近年、短時間に激しい雨の降る回数が、昔と比べ増えています。また、近いうちに大きな地震が来るかもしれません。これまでに経験したことがないような自然災害が起きたときに、私たちを守ってくれているインフラが耐えることができるか心配されています。



問題を放っておくと
大変なことになるじゃん!!

問題が解決されないと…

「不便」になります。行きたいところに行けなくなっちゃうかもしれません。大雨や地震などの自然災害にも不安で、日々安心して生活することもできません。

「道路が壊れちゃったから直してくね!」とか、「堤防をすぐにつくるよ!」なんて、簡単には言えません。つくるだけでなく、直すことにも、とってもお金がかかります。時間もかかります。人も必要です。みんなが住んでいる日本って、だいたいどこに行ってもインフラがどんどん新しくつくられて、ずっと使うことができるように守られていると思われがちですが、このままだと、当たり前と思っていることが、当たり前じゃ



大雨時に橋が壊れた静岡県内の事例(2021年7月)

なくなるかもしれません。だから、みんなの暮らしを支える“インフラを支えていく”ことは大切なことです。

支えてくれている人がいる!

道路がなかったら、橋がなかったらなんて中々普段考えないですよね。あんなに丈夫そうに見えても何もしてあげないといつか壊れて使えなくなっちゃいます。そうならないように定期的に点検・補修をしてインフラを支えてくれている人たちがいます。そんな人たちへのありがとうの気持ちをみんなも持ち続けてくれたらうれしいです。



2050年
私はこんな〰️まち〰️に住みたい。

みんなの
住みたい〰️まち〰️を
集めています！



住みたい〰️まち〰️を自由にかいてください。
「あんな建物があったらかっこいい」
「こんな道や橋があったら便利だな」
なんでもいいです。いっしょに
未来の地域をつくりましょう！



2050年私は

歳

静岡県が未来に向けて進めていきたいこと

「いっしょに、未来の地域づくり」

～誇りと愛着を持って県土を育み、静岡の明るい未来へ～



えーと…つまりどういうこと？

ちょっと難しいわね！分かりやすく説明するわね！

つまり

"I LOVE 静岡県"な人が増えてほしい

自分が静岡県に住んでいることに誇りを持ってほしいです。静岡県のことをもっと知って愛着を持ってほしいです。カッコいい言い方をすると「シビックプライド」と呼んでいますが、要するに「静岡県LOVE」な人が増えてほしいわけです。「シビックプライド」を持って、みんなで静岡県を育てていきましょう。

地域を良くするために一緒に頑張りたい

静岡県に住むみんなの暮らしがもっと良くなるためにはどうすればいいですか。一人で考えるよりみんなで考えたほうが楽しいし、いろんな可能性が生まれる気がする。将来、みんなが静岡県でハッピーに暮らすことができるよう、いっしょに明るい静岡の未来をつくっていきましょう。



実現に向けて頑張ること

安全・安心



大雨や地震などの自然災害からみんなの命を守り、すぐに立ち直ることができる、強く、しなやかな静岡県にしていきます。

活力・交流



道路・港・空港の交通ネットワークを上手に使いながら、他エリアとの交流をさかんにできる、魅力ある、元気な静岡県にしていきます。

環境・景観



静岡県の豊かな自然・文化・歴史に根差した美しい景観を、まもり、時にはつくりだし、みんなの生活にゆとりやうるおいを届けることができる静岡県にいきます。

県民との共創

ずっと暮らしやすい静岡県となるために、先進的な技術や情報をみんなで共有し、いろいろな分野で、今までになかった便利なコトやモノを産み出していきます。

県土との共生

ずっと暮らすことができる静岡県であり続けるために、地球温暖化の原因となっている温室効果ガスの削減に役立つことをしていきます。

どうもありがとう!!



これからの静岡県を支えるソフトインフラ

こんなに
いろんなことが
できちゃうの!?

バーチャル シズオカ

VIRTUAL SHIZUOKAって知ってる?

道や橋はハードインフラといわれ、私たちの暮らしを支えてくれています。そんなハードインフラを支えていくために期待が集まっているのが『ソフトインフラ』です。ソフトインフラはインフラをつくる時やまもる時に便利なデータや技術のことを言います。

そして、静岡県が力を入れているソフトインフラが『VIRTUAL SHIZUOKA(バーチャル シズオカ)』です。私たちが住む現実空間(リアル)の静岡県を3次元点群データという膨大な点のデータを集めて、仮想空間(サイバー)にそっくり再現したVIRTUAL SHIZUOKA。この仕組みを「デジタルツイン」といいます。

インフラの維持管理・防災対策・地域交通の確保のためだけでなく、観光やエンタメなどのいろいろなところにVIRTUAL SHIZUOKAを使って、みんながハッピーに暮らせる静岡県を目指していきます。



「デジタルツイン」って知ってる?

デジタルツイン...? 初めて聞いたよ

デジタルツインとは…?

デジタルデータを使って、仮想空間(サイバー)に現実空間(リアル)を再現する技術です。現実空間(リアル)のそっくりな双子を仮想空間(サイバー)に作るという意味でデジタルツインと呼ばれています。現実空間(リアル)では、時間とお金がかかるシミュレーションや体験などを、仮想空間(サイバー)では簡単に行うことができます。

VIRTUAL SHIZUOKAでできること

まちづくり

完成イメージが
分かりやすい!

仮想空間に現実空間をリアルに再現することで、もしここにあれがあったら、これができたらなど様々なシミュレーションが可能になります。まちづくりなどで住民の方々にイメージを伝える際などにイラストよりもリアルにお伝えができるので便利です。



活用事例はこちら



観光

いつでも
好きな場所へ!

静岡県内の様々な場所を仮想空間に再現することが可能です。現実空間を特殊な機材を用いて撮影しデータを収集しているのでとってもリアル。普段見ることのない角度から観光名所を画面越しに見ることも可能です。あなたは静岡県のどこを観光したいですか?



活用事例はこちら



エンタメ

マイクラフトでも
利用可能!?

VIRTUAL SHIZUOKAのデータは、プログラミング学習にも効果があると期待されている世界的なゲーム「マイクラフト」にも利用できます。VIRTUAL SHIZUOKAが持つ空間の点データには緯度・経度などの数値データも含まれているのでそれを活用することでマイクラフト版静岡県ができちゃうかも!?



活用事例はこちら



◀ 興味がある人はこちらから

VIRTUAL SHIZUOKAに関する詳細な情報にアクセスできます。オープンデータだからなんでもできるよ!

インフラにふれてみよう



例えば…

インフラは楽しめる

インフラツーリズムというインフラをコンテンツとして楽しむ観光スタイルが注目されています。普段なかなか見ることができない施設の裏側などを見学できます。静岡県でも開催する時がありますのでその際は是非ご参加ください。



フェリーに乗って楽しんでいる様子



湖の草刈りをしている様子

例えば…

インフラを守ろう

地域に住むみんなが主体的に参加しながらインフラを守る・整備するイベントがあります。他人事ではなく自分事に考えてインフラにふれることができる良い機会です。自治体のHPなどでも参加募集することがありますのでご興味ある方はご確認ください。

例えば…

インフラは景色の一部

自分の家が雑草だらけでいろんなところが錆びたら嫌じゃないですか?すぐにお掃除しますよね。同じように自分が住む地域のインフラだってきれいな方が気持ちが良いです。道にゴミが落ちてたら拾って、ゴミ箱に捨てるだけでもいいんです。小さいことからインフラを支えていきましょう。



ガードレールを塗り替えている様子



おしまい…

最後まで読んでいただきありがとうございます。

ちょっとだけインフラのイメージ変わりましたか?

過去から現在まで多くの人々が築きあげてきたインフラがみんなの当たり前の暮らしを支えてきました。

未来はどんな静岡になっているんでしょうか?

これからもインフラと静岡の未来について

いっしょに考えてくれたら嬉しいです。

これからもよろしくね!



リンク紹介

美しい“ふじのくに” インフラビジョン

静岡県が掲げる
インフラビジョンについての
紹介ページです。



静岡どぼくらぶ YouTubeサイト

「どぼくってオモシロイ」を
伝える動画コンテンツを
ご紹介しています。

